

皆様、お元気で過ごしですか。

昨年はりんごのご注文を賜りまことにありがとうございました。小関りんご農園をご愛顧いただきまして、まことにありがとうございます。

さて、突然ですが、「小関りんご農園のりんごの樹の里親」になってみませんか？

2006年初春。私はちっともお金が入ってこないのに、どんどんお金が出て行く状況に頭を抱えておりました。そんな折、大宰府の藤本さま（昨年、私のりんごをHPよりご購入頂いたお客様です）より、「小関りんご農園の里親になりたい」というメッセージを熱心にいただきました。

これは、「お前少しは知恵をめぐらせ」という天からのメッセージとも思えるほど私の心を揺さぶりました。

実際、今年からは私はブドウ（巨峰）を作りますし、夏にはりんごの早生種を若干、それと無農薬有機野菜を作っております。それと、春にはりんごジュースも出来ます。これらをうまく経営にとりこんでいけないか。珍しく、かなりの期間考え続けました。

ここに、りんごの樹の里親となっただき、自分が里親となった樹の様子をご報告させていただきますことで、私と共にりんご栽培を、楽しみ、苦しみ、ハラハラしてもらい、最後、収穫を迎えて万歳をしてもらおう（もちろん会いに来ていただくのも大歓迎）。

そして私からの感謝の気持ちとして、年に何回かこちらから私が栽培しているものを一番おいしい時期にお届けさせていただく、という企画はどうだろうかと考えました。（この辺の顛末はHPの中の「りんご畑日記」にも載ってます）

表向きは、「小関りんご農園のりんごの樹の里親」制度なのですが、サブタイトルとして「小関家の家計を応援してもらう会」というものになります。（こっこのほうが実はメインのよ～な気がしますが、そのとおりです）

別紙にかかる企画の要覧を記載させていただきましたので、ぜひ一読ください。

南信州に住んでりんご農家をやっている友人、あるいは親戚、あるいは甥っ子というような感じで皆様よりご声援をいただいておりますが、もしよろしければりんごの樹とも、より深くつきあっていただければ幸甚の極みです。